

会 議 議 事 録

1	会議名	令和5年度第1回食育推進会議・食育推進連絡会議
2	開催日時	令和5年6月29日（木曜日） 午後1時30分から午後3時30分
3	開催場所	さいわいプラザ 4階 中央公民館大ホール
4	出席者名	<p>(食育推進会議委員)</p> <p>久保田会長 熊倉副会長 猪貝委員 鴨居委員 北山委員 佐藤委員 中山委員 難波委員 西本委員 野村委員 松井委員 村山委員(アドバイザー)</p> <p>(食育推進連絡会議委員)</p> <p>岩銅会長 津軽副会長 古川委員 宮下委員 永澤委員 杉本委員 下室委員(代理出席)</p> <p>(関係課)</p> <p>大平係長(市民協働課) 中村係長(農水産政策課) 小林係長(環境業務課) 岩淵主査(学務課) 鈴木指導主事(学校教育課) 両田主査(子ども・子育て課) 金子主任(保育課)</p> <p>(事務局)</p> <p>水島福祉保健部長 五百川健康増進課長 曾根健康増進課長補佐 田中係長 伊藤主任 坪谷主任 石原会計年度任用職員 久保係長 池田主任 荒木会計年度任用職員 丸山会計年度任用職員</p>
5	欠席者名	永井委員 野田委員 福居委員 小黒委員
6	議題	<p>(1)令和4年度第3次食育推進計画事業報告について</p> <p>(2)第4次食育推進計画策定の概要について</p> <p>(3)第4次食育推進計画骨子構成案について</p> <p>(4)第4次食育推進計画の指標について</p>

7 審議結果の概要	<p>議題(1)は報告書(別途配布)にて報告とした。</p> <p>議題(2)(3)(4)は承認された。</p> <p>その他、各議題ごとに資料を基に意見を伺った。</p>
8 審議の内容	
司会	○開会
福祉保健部長	○挨拶
各委員	○委員自己紹介
進行・会長	<p>○議事</p> <p>議事(1)について事務局から説明願う。</p>
事務局	(事務局説明)
進行・会長	続いて、議事(2)について、事務局から説明願う。
事務局	(資料1を基に事務局説明)
進行・会長	<p>今の説明について意見等はあるか。</p> <p>議題(2)について議事終了。</p> <p>続いて、議題(3)について事務局から説明願う。</p>
事務局	(資料2を基に事務局説明)
進行・会長	今の説明について意見等はあるか。
委員	資料2の7ページの環境に配慮した食の循環とあるが、具体的にどうい うことか。
事務局	<p>環境に配慮した食の循環とは、国や県の計画にも掲げてある。</p> <p>食の循環、環境保全型農業や減農薬の栽培方法のほか、農林漁業関係者 との交流やコミュニケーション、人のつながりの面からの食育を考えてい る。</p>
委員	JAでは、コシヒカリに関しておよそ3,000ヘクタールの面積で減農薬

	<p>栽培をしてきた。それを野菜に関しても拡大していくという考え方か。</p>
事務局	<p>ここでは市民への情報提供と考えている。</p>
委員	<p>環境に配慮した農産物を、もう少し行政として拡充していくという考えではなく、PRということか。</p>
事務局	<p>拡大していくということになると各所との協議が必要。4次計画を進めていく中で検討したい。</p>
委員	<p>6ページの若者世代への取組みの強化というところで、子どもの個食、高齢者の個食から子どもや高齢者への食育が大切とアンケートで出ていた。高齢者の男性が食育に関心が持てない、料理ができない、という話にも広がった。高齢者への取組みはどこに網羅されるのか。</p>
事務局	<p>若者世代の取組み強化は新しい施策としているが、市としては共食に力を入れたいと考えている。子どもから高齢者までを網羅した、多世代に渡る推進を考えている。</p>
委員	<p>5ページの食の循環や環境地域のつながりなどと記載があるが、具体的に食の循環・環境はどんなイメージか。特に食の循環とは何か。</p>
事務局	<p>食の循環は有機農業の理解拡大や食品ロスを考えている。</p>
委員	<p>食の循環の中で、食品ロスを循環にまわしていくということか。</p>
事務局	<p>第4次計画では、SDGsの観点で持続可能なものを盛り込んでいく考え方を示している。その中のひとつとして、食品ロス減という考え方で計画を進めていく予定。</p>
進行・会長	<p>今後、第4次計画を策定していく中で、具体的に考えていくということと捉えた。</p>
委員	<p>食品ロスという言葉は食べ物を残さないという考え方。いいことではあるが、臨床現場では決められた量だけ作って食べる、残ったらもったいないと思わず捨てる、ということも伝えている。</p>

進行・会長	<p>議題(3)について終了。</p> <p>次に、議題(4)について、事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>(資料3を基に事務局説明)</p>
進行・会長	<p>第4次計画の指標についての説明に意見、質問などあるか。</p>
委員	<p>新しい指標4、5は、新潟県の指標と似ているため比較しやすく てよい。そもそも主食、主菜、副菜のそろった朝ごはんを食べるこ とはハードルが高い。県では、朝ごはんを食べていればよいことと している。</p> <p>県と揃えたことと、現実的な視点になったことはいいことである。 資料4ページの基本方針で、理解と実践を分けたというところが よい。理解した上で実践につながる。</p> <p>指標としてどの程度理解しているかわかる指標があればよい。 事務局の説明の中で、主食、主菜、副菜の言葉や意味を知ってい る割合が80%以上という話もあった。</p>
委員	<p>コミセンの講座に参加して、野菜を食べようという講座を運動講 座と合わせて学んだおかげでたくさん野菜を食べるようになった。</p> <p>勤めていたころより健康的。食育のおかげ。血管年齢やベジチェ ックもよかった。食育と実体験が結びつくことを大事にしていきた いという考えと受け取れた。</p>
委員	<p>新指標15番の環境に配慮した農林水産物を選ぶ市民の割合は、市 民がどう見分けると想定されたのか。</p> <p>実際に環境に配慮した農林水産物の食品をスーパーで手に取る場 合、ほとんどそういう表示はない。例えば、米は特別栽培米とつい ているが、本当に意識して市民は選んでいるのか、実際に選ぶ材料 として表示や掲示があるのか、意識すらないのではないか。</p> <p>市民の意識の割合が測定できれば、生産する側として参考になる。 測定できるだけの検討材料を出してもらいたい。</p>
事務局	<p>環境に配慮したとは、過剰包装ごみの少ない商品など説明をつ けた上でのアンケート結果。</p> <p>今回の食育計画策定は健康づくりの課(健康増進課)が主管課であ</p>

委員	<p>るので、他課(農水産政策課・環境業務課)や関係課との協議のうえ検討していきたい。</p> <p>新指標 10 について適正体重は BMI か。根拠は。</p>
事務局	<p>BMI から。市の健康診断の結果、子どもは小中学校の健康診断結果から。</p>
委員	<p>女性は皮下脂肪が多く、男性は内臓脂肪が多い。</p> <p>皮下脂肪はただの脂肪だが、内臓脂肪は生体に対して悪さをするホルモンが分泌されるので、男性の場合は腹囲のほうが判断基準として大切。</p>
委員	<p>第 4 次基本方針が示されて柱の内容についてはわかりやすい。</p> <p>基本理念があって、方針があって柱があって、指標があるが、指標の間に市としてのどういう市民に対して働きかけをするか、今の説明だと出てこないのわかるようにしてほしい。</p> <p>具体的な指標に関して、〇〇委員からの質問に関しても、環境に配慮した農林水産物を選ぶ市民の割合について、国の目標ということもわかるが、実際に県内のスーパーで有機農業や新潟県産のもの、過剰包装のないもの、様々な取り組みがされていて、取引している業者に対して量的なものが限られている。説明もあったが、内容がよくわかるというのがはっきりしてこない、このまま終わってしまうと思う。</p> <p>地域の共食のイメージができない。詳しく教えてほしい。</p>
事務局	<p>市としての市民へどのような働きかけ、取り組みをするかについては、7 ページの推進する場面ごとに向けて関係団体、関係課と今後検討予定。</p> <p>共食については、様々なコミュニティを考えている。コミセンの配食サービス・子ども食堂・職場・学校・大学食堂・社食、地域の集まりなどで一緒に食べることをイメージして共食としている。</p> <p>共食のメリットは、心へ影響は、一緒に食べる人がいることで「食事が楽しい」と思う人を増やす。健全な体への影響は、一緒に食べる人がいることで栄養バランスを考える人の増加を目指す。</p> <p>昨年度のアンケートのクロス集計では、家族で食事をしている人</p>

委員	<p>ほど、朝食のバランスが良い、食事のあいさつをする人が多いという結果も出ているので、一緒に食べることは大切であると考え、共食の推進を考えている。</p> <p>共食のことはわかった。</p> <p>共食したいと思う人が共食をする割合というところとわかりにくいので、表現を考えてもいいのではないかな。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
委員	<p>共食という言葉が浸透していないのではないかな。個食は聞いたことがあっても共食はあまりない。</p> <p>心や体への影響まで考える人は少ないのではないかな。</p> <p>6ページの若者への取組み強化とありますが、若者というのは幼稚園や小学生のことかな。</p>
事務局	<p>高校生以上の青壮年期から働き世代を指している。</p> <p>小中学校は学校で食育授業があり、高齢者は地域での事業があるが、青壮年期はアプローチするのが難しい世代。</p>
委員	<p>学校を卒業して親元を離れると、食についてはおろそかになりがち。自分自身が健康を意識し始める手前の世代だと思う。</p> <p>地域で食育してもらってるという実感が持ちにくい世代。結婚して子供がいれば意識を持つが、そうでない独身世代はどこに入るのかな。</p>
事務局	<p>今後の連絡会議で検討していきたい。</p> <p>共食の表現は国の施策でもあるが、わかりやすい表現を検討していきたい。</p>
委員	<p>若者世代へのアプローチで紹介したい。</p> <p>食推では、少数だが高校に出向き、バランスの良い食事や朝食の大切さを伝える講座を実施している。</p> <p>若者に全くアプローチしていないわけではないと思っている。今年度からは中学生対象の活動もある。食推のこういった活動も知っておいてほしい。</p>

委員	お母さんになってからはどうか。
事務局	その世代へのアプローチは課題。関係団体と協議していきたい。
進行・会長	中学校での食育の取組み、方針など、中学校の立場から意見願う。
委員	<p>中学校では食育をしている。高校生以上、20代に乱れるということは仕方がないのではなく、中学校で一生懸命やっても大人になれば変わるのであれば、その場しのぎの食育しかしていなかったと思う。</p> <p>食事のあいさつをする割合も学校では必ずするが、家ではしていない。当校では朝食を食べる割合を毎年調査しており、98%と高い数値であるが、その子たちが高校生になったり、一人暮らしになると変わるということなら食育になっていない、身につけていないということを実感した。</p> <p>保護者のことについても、食に関わらず生活習慣などの講話などに来てほしい保護者が来ない。十分やっている人が一生懸命勉強されている。</p> <p>朝食については、作っていない家庭、作っても子どもが寝坊して食べられない家庭、いろいろだと思う。</p> <p>将来に役立つような食育をやっていかないといけない。自己満足な食育ではいけないと感じた。</p>
進行・会長	<p>私ごとだが、自分の子供が高校生の時、部活で受けた食育の指導の内容を習慣にしている。今後も取り組みは続けたほうがよい。</p> <p>小学校ではどうか。</p>
委員	<p>小学校の子どもたちの食育については保護者の影響が大きい。子どもが自分で食事を準備するわけではない。</p> <p>気になっているところは、食事を楽しく感じている子が少ないということ。コロナも落ち着いたが、楽しさが感じられないのは何が原因なのか。学校でも給食時間は大切な食育の時間なので、食育指導を担当がしっかりしたい。</p>
進行・会長	会議全体ををとおして意見などはあるか。

委員	<p>今朝、保育園で事件が起きていた。まだ小さいスイカが動物に食べられていた。子どもたちはすごく楽しみにしていたので、今後のことを子どもたちと作戦会議をした。給食でも園の畑でとれたきゅうりを食べた。</p> <p>大人になってもつながっていく食育を考えていきたい。やれることをやりたい。</p>
進行・会長	<p>連絡会議の委員からも意見を伺う。</p>
委員	<p>高校生の子が食育の勉強をしてきた。小中学校のころに栄養を教えていたが頭に入っていない。小さいころから勉強していくことで食についての理解が高まると思う。出前講座などが普及すれば子どもたちが栄養に関心を持つのではないか。</p>
委員	<p>子ども向け料理教室や米粉料理教室を開催している。</p> <p>子どもたちがすべて準備する。お手伝いの子供の割合が高くなっていると感じる。食育を現場につなげていきたい。</p>
委員	<p>自分の生活を考えさせられる。</p> <p>社協では食事サービス事業として一人暮らしの高齢者等を対象に会食、配食サービスを行っている。来週月曜日には学校栄養教諭の津軽先生から講師をしていただき、ボランティアに向けた研修会を開催。今回は学校給食から学び、新しい視点で研修をすすめたい。改めて栄養素について考え、給食のメニューを取り入れ、献立のマンネリ化解消となる内容にしたい。</p> <p>自分自身が働き世代だが、普段の食事を振り返ると栄養を考えていないため、この世代を対象とした取り組みがあるとよい。</p>
委員	<p>離乳食講座やままのまカフェなどで活動している。参加者が多い。</p> <p>離乳食を考えたときにアレルギーや、妊娠中の健康などいろいろな問題がある。今後も考えていきたい。</p>
委員	<p>多世代に渡った活動、例えば、子ども向けに児童館で3つの栄養の話をしたり、親子料理を行っている。</p> <p>長岡市で料理講座を普及するのが自分たちの役割。壮年期対象に、職場にお邪魔して生活習慣病予防の減塩・野菜摂取の講話を保健師</p>

委員	<p>と一緒に実施する予定。長岡の健康づくりに食で講座を行っている。</p> <p>三つ子の魂 100 までということで、栄養士会では赤ちゃんから小中学校、高齢者、福祉、病態指導まで様々な世代を各会員が担っている。</p> <p>高校生の食育講座で小学校 1 年生に食を教えるという講座があり、菓子パン 1 個で食事している高校生が小さい子に教えることで、自分の生活を振り返っていた。小さい子に教えることで自分を振り返るのは大事。</p> <p>子育て世代・働き世代の人たちは自分をおろそかにしがち。そういった世代への働きかけをについて、今回の会議で必要性を考えさせられた。指標についても同様で、栄養士会が協力できることを考えていきたい。</p>
委員	<p>考え方はいろいろあっても結局実践できていないということ。主食、主菜、副菜という理解の部分については、ごはんと肉と野菜を食べなさいということであればカレーでよい。</p> <p>環境に配慮したということについては、自分で畑をやっていると、残飯はロスではなく肥しにして畑の栄養になる。残飯をどう生かすか、長岡市も生ごみ関係の事業につながると思う。考え方を変わると無駄を変えられる。</p>
委員	<p>第 4 次計画は、共食や環境に配慮した農林水産物は、国や県の計画にあり、長岡と比べられる指標が新たに入ってよかったと思う反面、長岡らしさとは何かと問われたとき、米飯を主食とする割合というのは他ではないもの、他に何かあるか、お聞きしたい。</p>
事務局	<p>指標は国や県のを基に作成している。今後、関係団体と協議し、長岡として重点的に推進するところ、長岡らしさは連絡会議で検討していきたい。</p>
進行・会長	<p>アドバイザーの先生から全体を通したアドバイス願う。</p>
アドバイザー	<p>次期計画の骨子案については、事前に事務局と相談済み。 資料はかなり整理されてきた。3 点コメントさせていただく。 ●大きな枠組み基本方針について。</p>

国の第4次推進の重点事項はの3つ。

一つ目、生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進。

これが長岡市の基本方針1に該当する。

二つ目、持続可能な食を支える食育の推進。

これが長岡市の基本方針2に該当する。

三つ目に国が挙げているものは、新たな日常やデジタル化に対応した推進であるが、これは長岡市では全面的ではなく、取組みの方向性として取り入れてはどうかということで、大きくこの2つの基本方針で整理された。

これについては、本日の会議で合意を得られたと感じた。

わかりにくいと感じたのは、基本方針2の食とのつながりというところが、食と何のつながりか分かりにくいので検討していただきたい。

●指標について

委員の皆様から意見が多かったのが環境と共食の部分。これについてコメントさせていただく。

環境の指標は、国際的にも持続可能な食をどう作っていくか、食べる側もどのように参画していくかということに関心が向いている。生産者側からたくさん意見があつてありがたかった。消費者の理解が不十分だったこともあるので、消費者の側に関心を向けて持続可能な食を支える運動をしていくということで、食育の中に取り込まれているというご理解でお願いしたい。

今後の取組みは連絡会議で検討されていくと思うが、JAなどの生産者側と買う側が、わかりやすく選べるようにする取組みを一体化させる必要がある。

共食は、まだまだ一般の市民に馴染みがないとすれば、計画で使うときに解説が必要。

共食とは、食べるところに意識が向くが、私たちが使う共食は、一緒に作る、食事を構想する、献立を考える、一緒に買い物をすることも該当する。食に関わるもっと多面的なものも共食というので、広めにとらえて取組みも柔軟に展開できると思う。

長岡らしさをどう取り込んでいくか、連絡会議の検討の中で検討して欲しい。

●市民に対するアクションについて

基本方針を定めて指標を作ったものを、どう達成させていくかが大切。

<p>進行・会長 司会</p>	<p>気になっているのが格差の問題。関心の高い層ほどよくやるということは感じている。それをどう解消してくかの成功例があまりない。難しい食育は格差を広げると感じている。楽しい食育が大事。すべての人が食に関心をもつにはどうするか考えていくことが重要。</p> <p>それぞれの立場からの意見をいただきに感謝する。 進行を事務局へお返りする。</p> <p>○閉会</p>
<p>8 会議資料</p>	<p>資料1：第4次長岡市食育推進計画策定の概要 資料2：第4次長岡市食育推進計画骨子構成（案） 資料3：第4次推進計画と第3次推進計画の指標項目比較表</p>